令和８年度
公立中学校夜間学級の設置に係る調査結果

■　**調査の目的**

　公立中学校夜間学級（夜間中学）に関するニーズや学び直しを希望する方の状況を把握し、学び直しの機会の確保に向けた今後の検討の参考とするために実施したものです。

■　**調査の方法**

　市町村教育委員会、社会福祉協議会、国際交流協会及び日本語教室を対象に、関係機関調査を実施しました。あわせて、個人調査を実施しました。

　個人調査については、市町村窓口や公民館等への配架、関係団体を通じた周知、県ホームページへの掲載などにより広く周知を行いました。その結果、インターネットにより 69 件、回答用紙により 15 件の計 84 件の回答がありました。

■　**調査期間**

　令和８年６月 22 日～８月 31 日

令和８年 10 月

岩手県教育委員会事務局学校教育室

1　調査票の配布・回収回答状況

（１）　市町村用　※(　)は前回調査（R5）

配布	回答	回答率
33	33(33)	100%

（２）関係団体用　※(　)は前回調査（R5）

種別	配布	回答	回答率
社会福祉協議会	34	11(10)	32%
国際交流協会	27	５(４)	19%
日本語教室	21	２(３)	10%
計	82	18(17)	22%

（３）個人用

主な配布方法	回答数						
・各団体による直接配布 ・市町村窓口、 公民館等に配架　等 ※配布数 約 826 ・県 HP による周知	84	方法	インターネット			回答用紙	
			69 (82%)			15 (18%)	
		言語	日本語	やさしい日本語	英語	中国語	フィリピノ語
			68 (81%)	9 (11%)	6 (7%)	1 (1%)	0

2　調査結果

（１）市町村調査（33 市町村）

分類	質問	人数・件数	参考 R5
A　戦中戦後の混乱のため中学校を卒業できなかった人	戦中戦後の混乱のため中学校を卒業できなかった方で、夜間中学等での**学び直しの機会を希望している方**の人数	0	0
B　不登校や家庭の事情で授業を十分に受けられないまま中学校を卒業した生徒（R7）	１(1)不登校等や家庭の事情などにより授業を十分に受けられないまま中学校を卒業した生徒の人数	150	317
	(2)　(1)のうち、高校等に進学しなかった生徒数	32	34
	(3)　(1)のうち、高校等への進学も就職等もしなかった人数	30	28
	(4)　(3)のうち、中学校において不登校だった人数	30	26
	２　16 歳以上の方で、現在フリースクール等の民間の教育施設等に通っている方の人数	1	9
	３　上記１・２に該当する方で、夜間中学等で**の学び直しの機会を希望している方**の人数	0	0
C　外国人又は日本国籍であるが日本語が不自由なまま義務教育期間を過ごした方で、中卒認定又は学び直しを希望している人	現在 16 歳以上で外国籍の人数	11,942	8,999
	令和７年度において、外国人または日本国籍であっても日本語が不自由なために、高校に進学しなかった方の人数	0	0
	上記に該当する方で、義務教育の卒業認定を必要としている方または夜間中学等での**学び直しの機会を希望している方**の人数	0	0
R7/R8 における夜間中学に係る問い合わせの件数		1	1
中学校夜間学級の設置について検討している市町村		0	0

（２）関係団体調査（18 団体）

質問	件数	参考(R5)
対象者からの相談・問い合わせ件数	1（国際交流協会）	0

【概要】

・市町村調査及び関係団体調査では、夜間中学等での学び直しの機会を希望している方がいるという回答はありませんでした。

・令和７年度及び令和８年度の調査回答時までの間に、夜間中学に関する問い合わせが、市町村に１件、国際交流協会に１件寄せられました。

（３）個人調査

質問	回答分類	人数
夜間中学を知っていたか	知っていた	32（38%）
	知らなかった	52（62%）
夜間中学で学んでみたいと思うか	ぜひ学びたい	10（12%）
	学んでみたい気持ちはある	25（30%）
	学びたいと思わない	49（58%）
	ぜひ学びたい・学んでみたい気持ちはある	**計　35（42%）**
夜間中学で学びたい理由 ・「ぜひ学びたい・学んでみたい気持ちはある」と回答した方（35 人）が対象 ・複数回答可	中学校を卒業していない	3（ 9%）
	高校進学のための学び直し	1（ 3%）
	就職・仕事のための学び直し	9（26%）
	外国人で、日本語の読み書きを学びたい	13（37%）
	その他（学力不足　等）	9（26%）
	その他（夜間中学に対するご意見　等）	4（11%）
どのような条件が合えば通うことができるか ・「ぜひ学びたい・学んでみたい気持ちはある」と回答した方(35 人)が対象 ・複数回答可	通える場所に夜間中学があること	28（80%）
	公共の交通機関で通える場所に夜間中学があること	16（46%）
	冬でも通える場所に夜間中学があること	15（43%）
	自分の生活に合わせた時間に授業があること	23（66%）
	自分の学びたい内容に合わせて学習ができること	21（60%）
	どんな条件でも通うことができる	7（20%）
	その他	3（ 9%）
「ぜひ学びたい・学んでみたい気持ちはある」と回答した方（35 人）の年代	・15～19 歳 3　・20 代 7　・30 代 6　・40 代 9　・50 代 8 ・60 代 1　・70 代 1	
「ぜひ学びたい・学んでみたい気持ちはある」と回答した方（35 人）のお住いの市町村と国籍 ※記載のない場合は日本国籍 ※【　】は教育事務所管内を表す	【盛岡】・盛岡市６（インド１）　・紫波町３ 【中部】・花巻市１　・北上市３（インドネシア２、ベトナム１） ・遠野市６（ベトナム４、外国籍２） 【県南】・一関市８　・奥州市３（ミャンマー１）　・平泉町２ 【沿岸南部】・大船渡市１（イギリス１）　・住田町１ （その他）・岩手県１	

【概要】

・個人調査では、「ぜひ学びたい」・「学んでみたい気持ちはある」と回答した方が 35 人（回答者の 42%）いました。

・希望者は県内各地に分布していました。

・学びたい理由として、日本語習得に関する回答が最も多く、回答者には外国籍の方が複数含まれていました。次いで就労や学力面に関する回答が多く見られました。

・通学に当たっては、通いやすい場所や時間、学びたい内容に応じた学習を求める回答が多く見られました。

３　調査結果Ｑ＆Ａ

夜間中学の制度や調査結果について、より理解を深めていただくため、補足説明としてＱ＆Ａを掲載します。

Ｑ１　夜間中学とは、どのような学校ですか。

Ａ　・様々な理由により**義務教育を修了できなかった人**や、不登校等のために**ほとんど学校に通えないまま義務教育を修了した人**、**本国や我が国で義務教育を修了しないまま学齢期を過ぎた外国籍の人**などが学ぶことができる学校です。



個人アンケート用フライヤーより（岩手県教育委員会）

Ｑ２　個人調査の結果から、どのようなことが分かりますか。

Ａ　・個人調査は無作為抽出による統計調査ではなく、県ホームページや関係機関等を通じた周知により**任意で回答いただいたもの**です。そのため、**回答結果は県全体のニーズや対象者数を直接示すものではありません。**一方で、夜間中学に関心を持つ方や学び直しを希望する方の状況、学習機会の確保に関する意見や要望などを把握することができます。

Ｑ３　市町村調査では希望者が確認されていないのに、個人調査では「ぜひ学びたい・学んでみたい気持ちはある」と回答した人が 35 人いるのはなぜですか。

Ａ　・**市町村調査と個人調査では調査対象や把握方法が異なるためです。**

・市町村調査は、**市町村が把握している対象者の状況について確認**したものです。

・一方、個人調査は、県ホームページや関係団体等を通じて広く周知し、**自ら回答した方の意向を把握**したものです。